

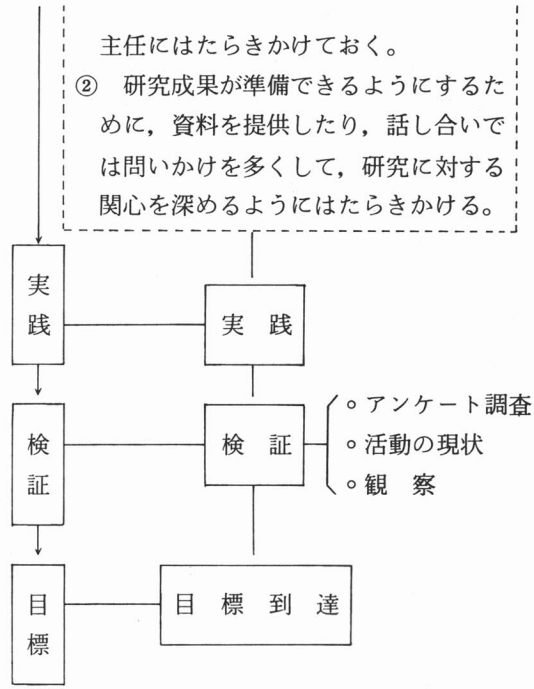
問題点  
一人ひとりが研究主題を自分のものとして受けとめて、運営上の工夫をしたり、積極的に研究推進したりこれまでの研究成果を授業に生かす努力がたりなかった。

問題の限定  
共同研究に向けて、教師一人ひとりが研究主題を自分のものとして受けとめ、研究に取り組むようにするには、どのような取り組み方があるかを探る。

- 1. 当面する研究課題解決の方策を用意して会に参加する。
- 2. 各自の研究成果を準備し会に参加する。

はたらきかけ

- 1. 研究課題解決の方策を考えるようにするはたらきかけ
  - ① 共同研究日である火曜日を相談日とし、気軽に質問したり相談できるよう全体に知らせる。
  - ② 必要な時に自由に相談に応じられるようにするため、質問用紙を用意したり、会について具体的な内容について知らせる。
- 2. 各自の研究成果を準備し、会に参加するようにするためのはたらきかけ。
  - ① 各学年部会、低・中・高部会に出席し、研究協議に参加して意見を出したり、助言できるようにするため



(2) 共同研究に関する調査と分析

〔調査・1〕 研究を深めることができるのはどの部会ですか。

項目	人数	50	100%
全体会	0		
各部会	6	■	
学年部会	32	■■■■■	

<考察>

- ① 各部会、学年部会の方が研究を深めるによいようである。中でも、学年部会は知ったもの同士のよさがあるのかもしれない。
- ② 学年部会では、具体的な話し合いができるためであることは予想できる。

〔調査・2〕 研究を進める上で、どんなことで困っていますか。

項目	人数	50	100%
研究主題	2	■	
研究内容	5	■	
研究方法	14	■■■■■	
部会の研究	3	■	
授業	4	■	